学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立光陽支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・支援学校における児童生徒、保護者の学校満足度の向上 ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信
計画名	「光陽 GO GO プロジェクト ~未来の扉を自分で開こう~」

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標		4. 【発信】 <u>多様性社会の推進と実現(発信力の向上)</u> ~地域に開かれ、お互いの学びを発信し、多様性社会の実現に使命が発揮できる学校~ (1) 「学校間交流」「居住地校交流」等について進化・深化させ、SDGsの視点も取り入れながら「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進を行う。 (2) 「地域に開かれた学校作り」実現のため、保護者・地域住民・地域小中学校・関係機関との協働を推進し、併せて「支援教育のセンター的機能」を発揮する。 (3) 児童生徒・教職員が光陽支援学校の取組み・実践・自らの学びを積極的に発信し、「すべての人が自分らしく生きていく社会の実現」に向けて使命を発揮する。(SDGsの取り組み発信含む)
事業目標		「光陽 GO GO プロジェクト ~未来の扉を自分で開こう~」 ① 自力移動が難しい児童生徒が多い本校において、「移動支援機器(ベビーロコ)」や「スパイダーシステム」を活用し、「自分で動く」事の楽しさを感じ、「自分のできること」を広げて、運動面・認知面・情緒面の発達を促し、コミュニケーション能力を向上させ、自己表現力を育む。また、スヌーズレンルームを活用し筋緊張を緩めることで移動支援機器・スパイダーの効果を最大限に引き出す。 ② 「SDGs」の取組みの一環として、「poRiff」(ポリフ=ポリ袋を活用したリサイクル作品」)や「七宝焼きでの SDGs 作品」等を作り、移動支援機器を活用した交流活動での配付や地域での販売活動を通して、自立と社会参加に向けた充実を図る。地域小中学校や高等学校・地域住民との交流を通して相互に高め合い、多様性社会の推進に使命を果たし、児童生徒・保護者の満足度向上に繋げる。
取組みの概要	整備する 設備・ 物品	・ベビーロコ3台・スパイダー1台・スヌーズレンルーム物品・電気炉2台等、七宝焼物品
	取組内容	・スパイダーを自立活動以外の授業でも活用できるように自立活動部による「スパイダー研

【環境整備】 ・ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレンルームの設置。美術室等に七宝焼き及びポリフ作 成の用具の配置。 【校内支援・研修】 ・自立活動部によるベビーロコ、スパイダー、スヌーズレンルームの周知と理解推進。講師 を招聘して授業巡回・指導助言をいただく。 ・児童生徒の「自立活動発表会」を各学部で実施。また、「活用事例報告会」を教職員間で 行い、評価する。 初 ・七宝焼きやポリフ等の作成講習会を実施。「SDGs」の取組みの一環として、「七宝焼きで 年 の SDGs バッジ」を特定の授業で作成する。 度 【保護者への発信】 ·ICT 教育部と自立活動部が中心となり、「実践プロモーションビデオ第2版」を制作し「光 陽安心メール」等を活用して配信する。 【地域支援】 ・夏季研修会で、地域の小・中学校、支援学校、高等学校へデモンストレーションを行う。 (オンライン研修含む) ・学校間交流や居住地校交流において、相互に「SDGs」の取組みをテーマにした発表会を実 施。 【校内支援・研修】 ・自立活動部による教職員への「ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレン」等の活用支援。 ・児童生徒の「自立活動発表会」を各学部で実施。また、「活用事例報告会に外部講師を招 聘し、評価及び指導助言をいただき、実践を改善する。 ・導入機器を活用した研究授業を行い、教職員の知識と理解を深め、機器の活用力を高める。 ・七宝焼きやポリフ等の作成講習会を実施。「SDGs」の取組みの一環として、「七宝焼きで の SDGs バッジ」やメッセージを各学部の授業で作成する。 2 【保護者への発信】 年 ・「光陽安心メール」を活用し、「実践プロモーションビデオ第3版」を配信する。 め ・七宝焼きやポリフ等の「PTA 講習会」を実施。 【地域支援】 ・夏季研修会で地域の小・中学校、支援学校、高等学校へ本校の活用事例報告会を行う。(オ ンライン研修含む) ・地域の学校へ向けてスパイダーとベビーロコ等の体験会を開催する。 ・学校間交流や居住地校交流において、「SDGs」の取組みをテーマにした相互発表会と交換 会を実施。 【校内支援・研修】 ・自立活動部による教職員への「ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレン」等の活用支援。 ・児童生徒の「自立活動発表会」を各学部で実施。また、「活用事例報告会」に外部講師を 招聘し、評価及び指導助言をいただき、実践を改善する。 ・導入機器を活用した「公開授業」を行い、他校教職員とも情報交換を行い、自校の活用力 を高める。 ・七宝焼きやポリフ等に加えて新しい「SDGs」の取組みを開発し、地域小中学校や高等学校 3 年 との学校間交流等で「協働制作」する。 め 【保護者への発信】 ・「光陽安心メール」を活用し、「実践プロモーションビデオ第4版」を配信する。 ·PTAと協働で、学校や家庭で実践できる「SDGs」の取組みを共有し、「学校運営協議会」

・夏季研修会等で地域の小・中学校、支援学校、高等学校へ本校の活用事例報告会を行う。

等を活用して地域へ発信する。

(オンライン研修含む)

【地域支援】

			 ・地域の小・中学校、支援学校、高等学校へ向けてスパイダーとベビーロコ等の体験会を開催する。 ・地域の小・中学校及び支援学校へベビーロコの体験「出前授業」を行う。 ・学校間交流や居住地校交流において、相互に作成した「SDGs」に関する物品を協働して地域で販売・紹介する。
		みの 担 施者	主担: 首席・自立活動部長・支援相談部長・支援教育コーディネーター・ICT 教育部長 実施者: 全教職員
		初年度	 ① 学校教育自己診断アンケートに光陽 GoGo プロジェクトの「自立活動に関する項目」「SDG s に関する項目」を新設する。 ② 学校教育自己診断アンケートにおいて自立活動に関する肯定的評価(保護者・教職員)が65%を超える。 ③ 学校教育自己診断アンケートにおいて SDG s に関する肯定的評価(保護者・教職員)が65%を超える。 ④ 「SDGs」の取組みを含めた発信力について、PTA や地域の代表が委員である「学校運営協議会」での肯定的評価80%以上。
成男 検証: 評価:	方法 <u>:</u>	2 年 め	① 学校教育自己診断アンケートにおいて自立活動に関する肯定的評価(保護者・教職員)が70%を超える。 ② 学校教育自己診断アンケートにおいて SDGsに関する肯定的評価(保護者・教職員)が70%を超える。 ③ 「SDGs」の取組みを含めた発信力について、学校間交流校および公開研修参加者のアンケートで肯定的評価70%以上。
		3 年 め	① 学校教育自己診断アンケートにおいて自立活動に関する肯定的評価(保護者・教職員)が80%を超える。 ② 学校教育自己診断アンケートにおいて SDGsに関する肯定的評価(保護者・教職員)が80%を超える。 ③ 「SDGs」の取組みを含めた発信力について、学校間交流校および公開研修参加者のアンケートで肯定的評価85%以上。